



1 優勝した「オモロー」は、息の合った25人のダンスが高く評価された。2,3 赤池山笠会と、会場を笑いの渦に巻き込んだ「赤池山笠会リアルボンキッキ」。4,5 ヒーローに扮した「金田保育園父母の会」が準優勝。6 5人の審査員が採点。7 かわいいう出場者が続々登場した、浴衣deナイト。



Pickup Topics



歩行者天国となった金田新町通り商店街では店舗商品の大量出売りのほか、保育園や地元のグループによる露店が軒を連ね、地域の人々とのつながりが感じられたひとときでした。

●福智町 I Love カナダ Fiesta  
主催 / 福智町 I Love カナダ Fiesta 実行委員会

# 盛夏の夜に心躍らせ

猛暑日となった8月1日の夜、暑さも吹き飛ばす陽気なリズムと、熱気に包まれた金田新町通り商店街で開催された「福智町アイラブ・カナダ・フェスタ」。メインの仮装カーニバルには7組が出場し、始終にぎわいを見せました。



8月1日の夕暮れ時、じわじわと人が集まり始めた金田新町通り商店街。「仮装カーニバル」出場チームによる最終調整の「元気なかけ声とステップが聞こえてきました。日中は最高気温が36度を超す猛暑となったこの日、今年で18回目を数える「福智町アイラブ・カナダ・フェスタ」の舞台となった商店街は、ステージに臨む熱気が合わり、

審査の結果、アップテンポのダンスを「糸乱れず踊りきった「オモロー」が賞金20万円を獲得、盛大な拍手が送られる中、優勝の喜びをかみしめたパフォーマーを披露し、観客と心をひとつに最高の笑顔でラストを飾りました。

福智の風

▶「福智の子ともたちのためなら」。インタビューを受けていただいたみなさんがそう口にして、それぞれに刻まれた「私の中にある戦争」を語ってくださいました。多くは記憶をさかのぼるだけでもつらい経験。心に封印した過去と向き合うとき、語る側も聞く側も、こみ上げる涙をこらえきれない場面が多々ありました。終戦から63年目の夏に取り組んだ今回の特集「祈り」。ご協力いただいたみなさんに、心から感謝いたします。(長野)

▶ぼくは、青空が大好きです。広報担当で写真を撮るようになってから、さらに好きになりました。去年は「カメラマン泣かせ」のスッキリしない空ばかりでした。今年は空気が見えきれいな、思わず見とれてしまうような真つ青な空によく出会います。今朝も家を出たら目の前に広がる青空。「よし、今日もがんばろう」見上げる空に勇気づけられた今日のごろです。(昌太郎)

▶7月19日ー86歳だった祖父が亡くなりました。20代前半に戦争の渦中にいた祖父は、私達には想像もつかない悲劇を目のあたりにしてきたのでしよう。隣りで撃たれた戦友、巻き込まれた一般人の屍…生きたくても生きられなかった多くの尊い命とその遺族を思うと、胸が苦しくなります。死の1か月前に、ふと当時の悲惨さを語ってくれた祖父。戦争をただの歴史上の惨劇で終わらせないための、後世へのメッセージだったのかもしれない。(日吉)

# 四季の歌

## 心映の投句

俳句・短歌教室の誦歌紹介

隣保館・みのり句会

池田一歩選

夏萩のピンクの色のま新し  
赤白の水引の花祝百日  
七夕や書けぬ願ひも込めらる、  
夏菜莢を甘し漬しと言ふて食ぶ  
岩魚にも化粧塩して焼き上る  
水音に浅き眠りの避暑の宿  
完熟のトマトに残る日の句ひ  
梅雨明けて畑の手入れに精を出す  
鎌を手に戻り来し夫汗しと  
六十路過ぎやと一息含飲の花  
秋蟬の残る命の地を遠へる

白石 幸子  
久松ミサオ  
小場 妙子  
丸山 鈴子  
吉田 弘  
安田 健一  
亀谷千恵子  
宇野八重子  
森 玲子  
小笠原雄子  
池田 駒女

福智町金田公民館俳句教室

岩井兎童選

舞ひたさの踊り子草は風に揺れ  
軽鳴の子の引越し日和嬉々として  
夕焼も積んで帰らぬ異国船  
草の葉の揺れをたのしむ糸とんぼ  
蜘蛛の囀の時計回りに夢を張る  
掛軸の虎吼えてゐる大暑かな  
炎天下忍者歩き屋根修理  
夏銀河雲にあそばれ見え隠れ  
故郷の祭りに思い夢馳せて  
短夜やナスコールのまた鳴りぬ

日比生利子  
永尾喜美江  
建部三由紀  
松岡 萬枝  
香月 富子  
長副美恵子  
迫田 昌子  
小川 雪  
木戸 文敏  
花石かほる

方城句会

池田一歩選

露坐佛に日の過くて靱草  
産土の縁と語る一行詩  
郷土史の信徒迫害國を曝す  
洗車して小さき虹立つ門出かな  
先考の後姿の土用灸  
山峡の歴史探訪合歓の花  
えぞにうの花の白さに朝の風  
恙無く伴に老いたし星月夜  
介護園むつきの山や汗にじむ  
白餅夫の形身を手に着せて  
原爆忌鎮魂の鐘突きにけり

石橋 勝己  
野村 鈴子  
松本美根弥  
桑野 昌宜  
白石 凡子  
渡邊 一枝  
尾崎 和子  
藤井耿之介  
杉 フジエ  
倉石嘉代子  
木村 誠一

ともしび短歌会短歌詠草

池の辺に暑さ避けしか羽休むつがいのトンボ水草の上に  
友よりの文月の給手紙露草よ真昼の暑さしばし忘るる  
庭に落ち蟬は羽根のみ残したりあまたの蟻に身を運ばれて  
径ゆけば背なをゆるするや蟬の声追わるることく歩を早めたり  
梅雨明けを知らせる蟬の鳴き声の暑さに負けず生きよと言ふがに

越智 早苗  
三村 和子  
福田 昌  
辻田 幸也  
武藤 鶴代